

科目名 Course Name	介護総合演習IV Care Practice Support IV				ナンバリング No.	J3-007	
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP1, DP2, DP4						
授業の概要と到達目標	<p>利用者を総合的に捉え、生活の場を踏まえた介護実践について理解する。また、既習実習の振り返りを通して、次段階実習における自己の課題を明確にすることを目的とする。さらに、介護過程を展開する実習に向けて、不安なく実習に臨めるよう準備を行う。</p> <p>①福祉用具の定義、意義、種類、選択および活用方法を説明できるようにする。 ②利用者の状態に応じた福祉用具を試作できるようにする。 ③訪問介護のサービス内容や留意点を説明できるようにする。 ④既習の実習や生活支援技術を振り返り、次段階実習の課題を明確にできるようにする。 ⑤自己の介護観を確立できるようにする。</p>						
授業の方法	講義、演習、視聴覚教材の視聴、グループワーク、発表等、多様な授業形態をとる。施設介護実習 II の実習前学内オリエンテーションと反省会は別途実施する。						
学習成果	L01	次段階実習である介護過程を展開する実習に向けた課題を明確にすることができる。訪問介護のサービス内容や支援のあり方について述べることができる。					
	L02	利用者の尊厳を考え、利用者視点で行動することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	第9・10回目の専門知識調べで提出されたレポートは、確認後、実習で活用できるよう返却する。国家試験模擬試験に関しては、実力や苦手科目を確認し、今後の学習計画につながるよう、個人成績を各自に返却する。						
教科書/参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第10巻「介護総合演習・介護実習」中央法規出版 介護実習の手引き、介護福祉士国家試験対策書、既習のテキストや参考書、配布資料等						
履修上の留意点やルール等	●実習用の証明写真を準備する。詳細は授業で説明する。費用は自己負担となる。●実習開始に合わせて、新型コロナウイルス感染防止対策に関する内容を説明する。●介護福祉士国家試験対策書は、受験年度のもので出版され次第、購入する。購入時は説明する(6~7月頃)。●教材以外のものは机の上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S評価は、①使用教材を準備し、必要なことはノートにとっている。②課題や書類の提出期限を守っている。③積極的に参加している。	20			
レポート/作品	【レポート1】S評価は、利用者の状態像を具体的に挙げ、必要な専門知識等を詳細に調べ、わかりやすくまとめていること。 【レポート2】S評価は、実習を振り返り、学び・気づき等、自分の考えが具体的に記述できていること。	10	10		
発表	福祉用具試作品と発表態度を評価する。S評価は、①アイデアがよい。②試作品の機能を適切に表現したネーミングになっている。③安全かつ実用的・経済的である。④わかりやすい説明であること。		40		
小テスト					
試験	介護福祉士国家試験の「総合問題」に準じた形式・内容を出題する。	20			

その他				
合 計		50	50	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法など)、2年次の介護実習について説明、福祉用具試作品発表会について説明(発表方法、評価方法等)
	事前・事後学習	授業や実習で使用するノートやファイル等を準備する。福祉用具試作品発表会に向けて発表原稿の作成、必要物品の準備、発表リハーサル。
2	授業内容	利用者の生活の場に対応する介護の理解① 福祉用具に関する知識の確認 視聴覚教材「福祉用具 用具導入のポイント編」の視聴
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。福祉用具に興味をもち、種類等を調べる。
3	授業内容	利用者の生活の場に対応する介護の理解② 福祉用具試作品発表会
	事前・事後学習	身の回りにあるものを工夫し、高齢者や障害のある人に対する福祉用具を作製する。福祉用具の活用による効果を考える。
4	授業内容	利用者の生活の場に対応する介護の理解③ 事例に応じた福祉用具の活用
	事前・事後学習	福祉用具の活用について考える。福祉用具に興味をもち、種類等を調べる。
5	授業内容	居宅介護実習Ⅱの準備(実習方法と留意点を説明、実習記録一式配布) 居宅介護実習先の理解(訪問介護について、視聴覚教材「訪問介護実習」の視聴)
	事前・事後学習	学内にある資料やインターネットを活用して実習先を調べる。訪問介護サービスの概要や留意点等をまとめる。
6	授業内容	介護のあり方を考える① グループワーク
	事前・事後学習	これまでの学習内容を復習し、尊厳と自立、利用者主体について考える。
7	授業内容	介護のあり方を考える② 発表
	事前・事後学習	尊厳と自立、利用者主体等、介護の基本を踏まえ、現時点での自己の介護観を考える。
8	授業内容	施設介護実習Ⅱに関する知識の確認① 実習日誌の書き方を振り返る
	事前・事後学習	既習実習の実習日誌を読み返す。実習日誌やレポートの書き方を復習する。
9	授業内容	施設介護実習Ⅱに関する知識の確認② 介護過程の展開における専門知識調べ(必要性和ワークの進め方)【レポート1:専門知識調べ、提出期限は授業で指示】
	事前・事後学習	介護過程を展開する利用者をイメージし、状態像を挙げる。必要な専門知識等を調べ、指定用紙にまとめる。
10	授業内容	施設介護実習Ⅱに関する知識の確認③ 介護過程の展開における専門知識調べ(個人ワーク)
	事前・事後学習	利用者像をもとに、必要な専門知識等を調べ、指定用紙にまとめる。
11	授業内容	施設介護実習Ⅱの準備(実習関連書類の配布・記入)
	事前・事後学習	実習関連書類の作成、提出。施設介護実習Ⅱに向けた「課題・抱負」を作成。
12	授業内容	施設介護実習Ⅱに関する知識の確認④ 国家試験に向けた学習(模擬試験)
	事前・事後学習	国家試験出題科目を復習する。模擬試験で間違えた問題を中心に、根拠等をテキストで調べる。
13	授業内容	施設介護実習Ⅱに関する知識の確認⑤ 国家試験に向けた学習(模擬試験)
	事前・事後学習	模擬試験で間違えた問題を中心に、根拠等をテキストで調べる。
14	授業内容	施設介護実習Ⅱの準備(検便容器の配布・説明)、居宅介護実習Ⅱ 反省会・まとめ 【レポート2:実習の振り返り(事前に記入し持参)、提出は授業終了時】
	事前・事後学習	実習を振り返り、反省会用紙を記入。自己を振り返り、次段階実習の課題を考える。
15	授業内容	施設介護実習Ⅱの準備(実習記録一式を配布)、授業のまとめ
	事前・事後学習	実習で使用する書類や資料を整理し準備する。施設介護実習Ⅱの行動計画を立てる。実習の流れに沿って準備する。